学校番号	３１５

令和２年度　理科

教科	理科	科目	化学	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	改訂新編化学（東京書籍）						
副教材等	ニューステップアップ（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

様々な事物や自然現象から科学的な知識を知り、それらを理論的に考え、理解を深めます。現代社会を豊かにしている無機化合物を理解・探求することで、より良い社会に向けて貢献できるようになってほしい。「探求方法の理解」を重視し、観察・実験などを通して、基本的な概念や法則を学び、化学の基礎的。応用的な力を身につけ、自然科学の考え方を理解してください。

2　学習の到達目標

・物質の状態変化、状態間の平衡、溶解平衡および溶液の性質について理解できるとともに、日常生活や社会と関連づけて考察できる。
・化学変化に伴うエネルギーの出入り、反応速度および化学平衡をもとに化学反応に関する概念や法則を理解できるとともに日常生活や社会と関連づけて考察できる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:観察・実験の技能	d:知識・理解
観点の趣旨	化学的な事物・現象に関心や探究心を持ち、意欲的にそれらを探究するとともに科学的態度を身につけている。	自然界や産業界にある化学的な事物・現象の中に問題を見出し、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	観察、実験を行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、化学に関する事物・現象を科学的に探究する技能を身につけている。	化学に関する事物・現象について、基本的な概念や原理･法則を理解し、知識を身につけている。
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の発表	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 探究活動の発表 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 観察・実験の記録 定期考査の結果	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査の結果

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	物質の状態	物質の状態	○				a: 物質の構造と融点・沸点の関係に関心を持ち、それらを意欲的に探究し、発表することができる。 b: 気体の温度、体積、圧力の関係を論理的に考え、基本的な計算で導くことができ、発表することができる。 C: 溶解のしくみについて、基本的原理と知識を身につけている。 d: アモルファスとしてのガラスの性質を観察、考察することができる。また、ガラスの加工技術を習得する。	定期考査 ノート提出 課題提出 小テスト 実験レポート
		気体の性質		○				
		溶液の性質			○			
		化学結合と固体の構造				○		
2学期	化学反応とエネルギー	化学反応と熱･光	○				a: 化学反応とエネルギーの関係について関心を持ち、それぞれのエネルギーについて探究し、発表することができる。	定期考査 ノート提出 課題提出 小テスト 実験レポート
		電池と電気分解	○					
	化学反応の速さと平衡	化学反応の速さ	○	○			a:化学反応について関心を持ち、意欲的に探求し、発表することができる。 b:化学反応のしくみを理論的に表現し、発表することができる。 c:化学平衡についてを理解し、知識を身につけている	定期考査 ノート提出 課題提出 小テスト 実験レポート
3学期		化学平衡			○			
		水溶液中の化学平衡		○	○			

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:観察・実験の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。